



『高知での主教会』

2月6日(月)～8日(水)まで、高知会館と高知聖パウロ教会を会場に第250主教会が開催されました。

2月と10月は各教区を訪問し、6月は東京三鷹にあるナザレ修道院を会場とします。

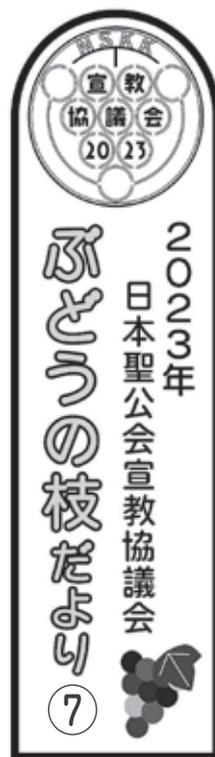
今回は神戸教区の担当で、2月ですから吹雪で飛行機が欠航しては大変と高知が選ばれました。高知を提案された主教さんは、今年3月末で定年退職される吉田雅人主教が若い時、勤務されていたことを考えられたのかもかもしれません。事実、主教会が終わった後、8日の昼食を高知の信徒の方々と吉田主教は共にされてい

ました。

会議では、首座主教の報告や各担当主教の報告、総主事報告など様々です。例えば、私の担当は、年金委員会、ミッション・ツアー・シーフェラーズ、立教英国学院、「み国が来ますように」です。今年の「み国が来ますように」の冊子も承認されました。

多くの話し合いの中で、「ウクライナのための祈り」も話題になりました。ロシアによる侵攻から一年が経ち、双方に人的、物的な大きな被害が出ています。教会は、「どちらに正義があるか」を判断することよりも、人為的な力によって苦しむ人がいなくなるように祈るべきだと思います。そういう意味で、このお祈りを続けるのか、それとも祈り書の諸祈祷の中のお祈りを用いるのか、各教会、教役者に任せることになりました。今、現職の主教たちは、10人です。私たちの為にもお祈りください。

(神戸教区主教)



今年の11月10日(金)～13

日(月)に山梨県清里にある

清泉寮で開催される「日本聖

公会宣教協議会」には各教区

から教区主教、宣教担当を含

めて8名、そして日本聖公会

総会で定められた各委員会な

どの諸部門の代表、そして実

行委員が集まる予定です。そ

して、協議会のプログラムの

多くはオンライン配信を予定

しており、実際に清里に集ま

るメンバーだけではなく日本

聖公会につながる皆さんと一

緒に時間を共有し、今後の日

本聖公会の歩みについて思い

を深め、共に歩み出していき

たいと願っています。

各教区からの参加者、各委

員会などの諸部門からの参加

者が決まりつつありますが、

参加者を対象とした「宣教協

議会参加者オリエンテーショ

ン」を4月23日(日)と4月

27日(木)の2回に分けてオ

ンラインで行う予定です。

参加される方の中には、ま

た参加されない方も「宣教協

議会って何を協議するのだら

うか」という思いを抱かれて

いる方もいらっしゃると思い

ます。

宣教とは、神様が主体と

なっとなされる神の国の完成

を目指す絶え間ない働きであ

り、私たちはその働きに招か

れています。そして、その招

きに応えて神の国を目指す旅

をしています。神の国のしる

しはこの世界の中にありま

す。それに気づき、発見する

ことによって私たちの心が開

かれ、育てられていくことを

願って協議会が行われます。

日本聖公会の今後の歩みを

考えるすべてのプロセスは神

の国を目指す旅であり、祝福

かち合いたいと思います。協

議会が私たちにとって希望と

なり、神様からの祝福を感じ

られる機会となり、私たち一

人一人が元気になりたいです

ね。そしてその「元気」を一

人でも多くの方々と分かち

合っていきたいと思っています

す。旅には喜びもたくさんあ

りますが、苦難もたくさんあ

ります。その苦難を乗り越え

て旅を続けていくためには希

望が必要です。宣教協議会の

主題聖句は、「私はぶどうの

木、あなたがたはその枝であ

る。人が私につながっており、

私もその人につながってい

れば、その人は豊かに実を結ぶ。

私を離れては、あなたがたは

何もできないからである。」

(ヨハネ15:5)です。神の

国を目指す旅は、イエス様を

離れては続けられません。

どうぞ、私たちがイエス様

から離れずに旅を続けていく

ことが出来ますようにお祈り

します。「清里への道」が祝

福されますように。

(東北教区 司祭 越山哲也)